

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒130-0026  
 住 所 東京都墨田区両国二丁目18番4号  
 氏 名 株式会社ヒューテックノオリン 印  
 代表取締役社長 松田 鞆夫  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ヒューテックノオリン		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島17-4		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	冷凍・冷蔵食材の保管配送		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,127	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t - CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	施設本部
		所在地	東京都墨田区両国二丁目18番4号
		電話番号	03-3632-3650
		FAX番号	03-3633-7740
		メールアドレス	
受付欄		事業者番号	
		特記事項	

( 第 2 面 )

計 画 期 間	平成 2 2 年度 ~ 平成 2 4 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第 1 号及び第 3 号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第 1 号及び第 3 号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第 1 号及び第 3 号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	設備の省エネチューニング等によるエネルギー負荷の低減及び高効率照明への順次更新を中心として、排出量の抑制を図る。詳細は、指針様式第 1 号 ( 第 4 、 5 面 ) のとおり。
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	無し。
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	・グリーン購入の推進 ・廃棄物の減量化・分別化の推進 ・従業員の通勤に公共機関の利用を促進 詳細は、指針様式第 1 号 ( 第 6 面 ) のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 のある欄は、該当する 内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 印の欄は記入しないでください。  
5 氏名 ( 法人にあっては、その代表者 ) を記載し、押印することに代えて、本人 ( 法人にあっては、その代表者 ) が署名することができます。

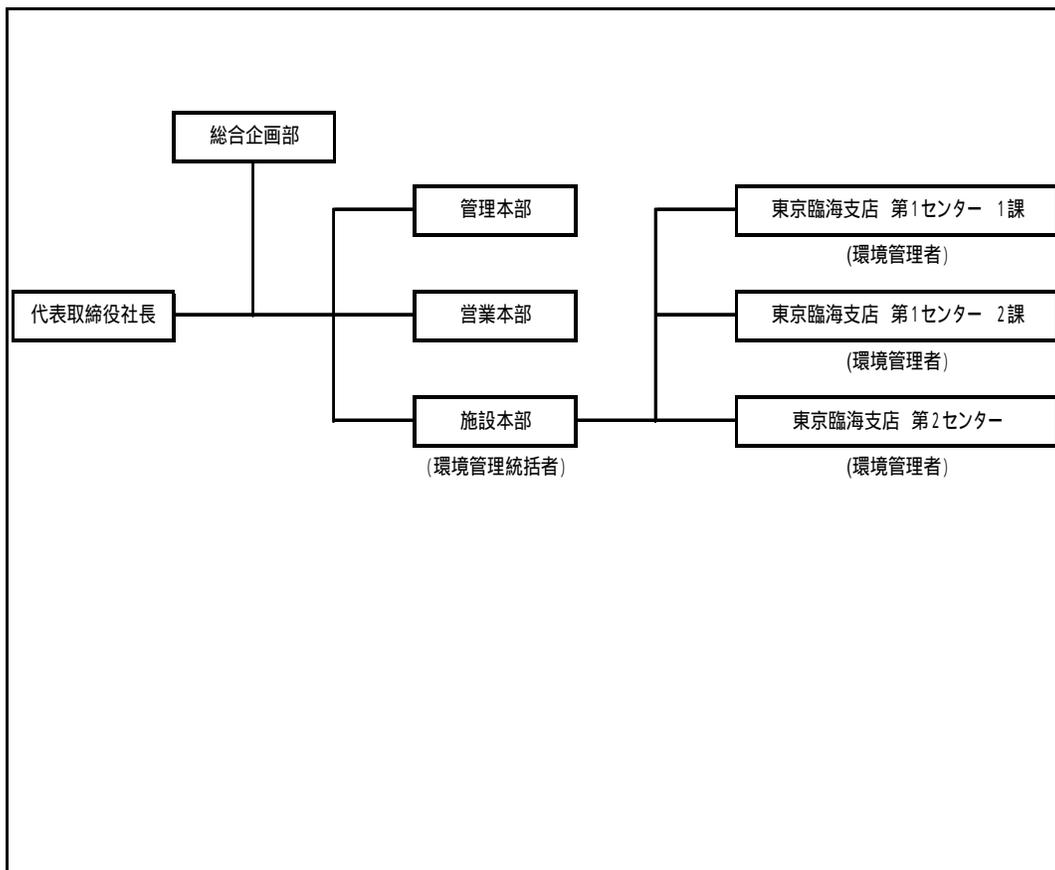
## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

1. 基本理念  
 冷凍食品物流の統合化・体系化・効率化などの革新を画期的に進めるとともに、環境保全活動に積極的に取り組み、企業の社会的責任を果たす。

2. 基本方針  
 環境関連法規制を遵守し、環境保全に努める。  
 電気や燃料などのエネルギー効率の向上を図り、省エネルギーを推進する。  
 環境保全活動に関する教育、啓蒙活動を継続して実施する。  
 川崎市内の事業所は、全社方針に基づいて活動する。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



## 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等(第1号、第2号、第4号該当者等)

## (1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

## ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 3,456 (調) 2,746 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 3,352 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 3.0 %	削減量	(実) 104 t-CO <sub>2</sub>

## イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	延床面積	単 位	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
基準年度の値	0.06524	目標年度の値	0.06327
削減率	3.0 %		
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由			

## ウ 目標設定に関する考え方

<p>弊社では、従来から弊社職員が直接設備機器を点検、整備、維持管理するなど省エネ対策に取り組んできており、現時点でエネルギー使用量を年平均で1%以上削減するという目標は、かなり厳しいものと受け止めている。 今後は推進体制の整備、省エネチューニングの徹底、設備更新時の省エネ機器の導入を進め、さらなる温室効果ガスの排出量削減に努めたい。</p>
--

## (2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標(全社目標)

<p>全国で28事業所を運営しているが、温室効果ガスの排出量削減目標を全社で年平均1%以上と設定している。</p>
---

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

( 1 ) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>推進体制の整備                  本社と市内全事業所で推進体制を整備する。                  主要設備等の保全管理                  主要設備について管理標準の見直しと整備を図り、省エネチューニングに努める。</p> <p>冷凍機                  冷却水入り口温度の適正化により、冷凍機の効率を改善する。</p> <p>照明設備の運用管理                  照度計測の実施により、照明設備を適正な照明レベルに設定する。                  照明設備の更新時には、高効率照明ランプを採用する。                  事務所の照明は、更新の際に順次 L E D 照明を導入する。</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

## (2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

## ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

当面は省エネルギー対策の推進に努める。

## イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

## ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

## (3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

省エネルギーについては、基準年度以前から積極的な取り組みを行っている。  
 具体的には、これまでに次のような取り組みを実施してきている。  
 冷凍機の夜間運転を中心とした温度管理、日常点検管理、定期的オーバーホール。  
 各種機器のインバーター化。  
 ノレンシート設置による冷気の漏出防止。  
 照明器具の点灯管理。

6 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

無し。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. グリーン購入の推進を行う。
2. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。
3. 従業員の通勤は、公共機関の利用を促進する。

様式第 1 号

( 第 7 面 )

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

( 1 ) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,456	t-CO <sub>2</sub>
(調)	2,746	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

( 2 ) 事業所等单位 ( 第 1 号、第 2 号該当者等 )

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東京臨海 第 1 C 1 課	川崎市東扇島 1 7 - 3	4721	冷凍食材の保管配送	1,043 t-CO <sub>2</sub>
東京臨海 第 1 C 2 課	川崎市東扇島 1 7 - 4	4721	冷凍食材の保管配送	1,342 t-CO <sub>2</sub>
東京臨海 第 2 C	川崎市東扇島 2 9 - 1	4721	冷凍食材の保管配送	1,071 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400 ~ 500kl 未満	
300 ~ 400kl 未満	
200 ~ 300kl 未満	
100 ~ 200kl 未満	
100kl 未満	

( 3 ) 事業所等单位 ( 第 4 号該当者等 )

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 ( 二酸化炭素換算 ) が 3,000 t 以上 ( 二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。 ) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 ( 二酸化炭素換算 ) が 3,000 t 未満 ( 二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。 ) の事業所の数

事業所数	
------	--